



お
麻

み
績



高野村長
三期目の登庁

人口 2,820人(男 1,333人 女 1,487人) 世帯数 1,137戸 (H30.1.1現在)

広 報
No.137

2~17

議会だより
No.127

18~25

村のホームページアドレス



麻績 広報

No.137

発行 麻績村
編集 村づくり推進課
〒399-7701
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
電話0263-67-3001
FAX0263-67-3094

☆年頭のご挨拶	2
☆村のイベントと動き	4
☆健康と福祉の広場	9
☆各課からのお知らせ	11
☆関係機関からのお知らせ	15

高野村政三期目へ

年頭のご挨拶

麻績村長 高野 忠房



村民皆様には希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年末の村長選挙に際しましては、再度村政を担わせて頂くことになりました。初心に返り麻績村

発展のために尽くして参りますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、アメリカ大統領にドナルド・トランプ氏が就任し多くの混乱が発生、北朝鮮の度重なるミサイル発射や中国の海洋進出などによる東アジアの緊張の高まり、長野県の消防防災ヘリコプター墜落により搭乗員9名全員が死亡などと明るさを

欠くニュースが目立った思いが致します。

また、異常気象による豪雨や地震により、全国各地で大きな災害が発生しました。麻績村では五月末日の降雹被害や台風・長雨による農作物への影響がありましたものの総じては平穏な年でありました。安堵の思いと共に、災害に強い麻績村を築いて来られた先人たちのご労苦に改めて感謝を致しました。

そして麻績村では新たな村づくりが大きく前進した年でもありました。

若者定住施策においては、本町地区での住宅建設が順調に進み多くの若い人たちに入居していただきました。

保育料の無料化、出産・育児支援、未就園児と親子が集う「ひだまり広場」の充実、十八歳までの医療費無料化など、子育て支援の拡充と共に子どもの数が徐々に増えております。

教育環境の整備も計画通りに進み、長野県のご配慮

により東筑摩郡北部三村の小学校を対象にしたLD等通級指導教室が麻績小学校に開設できました。



▲麻績小に開設したLD等通級教室

安心・安全の村づくり事業については、主要村道の改良事業が各所で進んでおりますし、巨大地震に備えての老朽ため池の整備、公共施設の耐震化、土石流発生に備えての砂防ダムの建設など進んでおります。

麻績村民が誇りとする麻績神明宮や福満寺の重要文化財を始め、多くの貴重な地域の歴史・文化の保護・保全事業が進みました。

将来を見据えてのテレワーク拠点整備や農業後継者育成を盛り込んだ新たな地方創生事業、地域おこし協力隊事業なども進んでおります。

シエンガルテンおみでの「光のページェント」や自転車の「ヒルクライムレース」など新たな観光イベント、村民の健康長寿を目指しての保健事業についても成果を見ております。



▲聖高原ヒルクライムレース

さて、麻績村の人口は、昨年十二月一日に二千八百十一人と一昨年同期より五十四名減少し、また六十五

歳以上の高齢者数は千二百二人、高齢化率は42・76%となりました。今後二千五百人を割り込むのも遠くない将来と思われます。

こうした流れを抑え、村民が安全・安心に過ごせる元氣な麻績村創生に向けて、「今、何をすべきか。」を的確に判断し、将来の財政負担を考慮して持続可能な施策を進めることが重要です。

こうした考えで、新年度重点を置いて進める主要事業について申し上げます。まずは若者定住施策の更なる推進です。

平成二十三年度から始めた若者定住住宅は、今年度末までに三十九棟が建ち、三十年度には更に四棟を建設します。そして、将来に向けて永住者を増やすために、一定期間の賃貸後にご購入いただける住宅整備事業の検討も進めて参ります。次に、近年スタートさせた各種の子育て支援策の定着と充実を図って参ります。筑北地域での学校統合問題

については、長い間両村関係者で検討して参りましたが中断し、話し合いは途絶えてしまいました。子ども数が減少する中で、筑北地域においては村を越えての学校統合が必要との思いは今も変わっておりません。早期に理想の教育環境が整うことを願うと共に、当面は、麻績村として小中学校の教育水準の向上を目指し、一人ひとりを大切に育てる教育を進めて参ります。また、コミュニティスクールや心を育てる森の学園構想を推進します。

次に、優良企業の新たな進出が難しい状況でありますが、麻績村は優れた交通ネットワークに恵まれており、長野・松本・安曇野・千曲・上田・大町の各市へ三十分から一時間で通勤可能な地です。生活環境の整備と共に通勤環境の向上を目指しベッタタウン化を図ります。次に、安心・安全の村づくり施策の推進に努めます。



▲優れた交通ネットワーク活用へ

大型緊急車両の通行が自由な地域の早期解消、聖高原のすずらん湖など老朽化したため池の調査・改修、土石流災害に備えての砂防堰堤構築、そして大規模災害発生時には住民の避難場所となる地域の集会施設の耐震化について関係地区の皆様と検討を始めて参ります。

次に、NPO農業法人を充実し遊休荒廃農地の拡大抑止と農業の担い手育成に努めると共に、土壌や気象など村の特性を活かした農業振興を図ります。

次に、先人たちから護り継がれた貴重な歴史的遺産・遺構・文化などの保存と継承、そして観光面での活用等に努めます。

次に、健康長寿の村を目指して、保健事業・介護予防事業の充実、地域包括支援体制の整備、社会福祉協議会との連携強化、障がい者自立支援等にも努めて参ります。また、新たに信州大学医学部と連携して、児童期からの健康づくりを始めて参ります。

次に、美しい自然や美味しい農産物、独自の歴史など地域資源を活用しての観光事業の推進、聖高原の環境整備、大都市圏への観光宣伝など進めて参ります。

このほかにも、筑北村との連携・共同事務による事業の効率化、商工業対策、有害鳥獣対策、松くい虫対策など、これらの重要な課題にも対処して参ります。今後、地方は過疎化・少子高齢化など厳しさは増しますが明るさもあります。

都市部には農業志望の青年が増えておりますし、農村への移住・定住「田園回帰」の動きが現れています。



▲第二公民館の耐震化とテレワーク拠点整備

今まさに地方創生の時代、地域自らが智慧を絞り汗を流すことよってチャンスが生まれます。今の厳しい時こそがチャンスと捉え、麻績村が更に躍進し希望に満ちた輝く村となりますよう努めて参りますので、なお一層のご理解・ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

村民皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、年頭のご挨拶と致します。

村のイベントと動き

自治功労者表彰

麻績村の自治振興に多大なご尽力をいただいた皆さまへの表彰が平成29年11月3日に行われました。功労章を受章された皆さまは次のとおりです。(50音順)

市野瀬 今朝男 さん (桂)
尾 岸 健 史 さん (上 町)
熊 澤 賢 博 さん (松本市)
坂 口 和 子 さん (本 町)
塚 原 久 男 さん (野田沢)
峰 田 昶 さん (明治町)
宮 川 浪 雄 さん (宮 本)
宮 下 忠 博 さん (根 尾)
柳 原 治 雄 さん (叶 里)



▲自治功労者表彰

聖高原スキー場がオープン

村内外の皆さまにご愛顧いただいている聖高原スキー場は、スノーマシンと年末の降雪により、平成29年12月29日から滑走可能となりました。また、隣接している無料ソリコースも滑走可能ですので、皆さまのお越しをお待ちしています。

なお、今シーズンの催しは次のとおりです。

- ・聖高原ジュニアジャイアントスラローム大会 前日クリニック
開催日 2月3日(土)
- ・ICI石井スポーツカップ 第21回ジュニアジャイアントスラローム大会
開催日 2月4日(日)
- ・第21回聖高原スノーフェスティバル
開催日 2月25日(日)

～スノーマシンを更新しました～

聖高原スキー場では、昨年に引き続きスノーマシン(人工降雪機)を1台更新しました。

スノーマシンは今回の更新で新型2台、旧型1台の計3台になります。▲新しく更新されたスノーマシン



▲オープンしたスキー場



▲新しく更新されたスノーマシン

元旦祝賀式

元旦祝賀式が1月1日に開催され、高野村長より年頭の挨拶が行われました。



▲挨拶をする高野村長

麻績村消防団出初式

麻績村消防団出初式が1月6日に開催されました。

当日は、晴天にも恵まれ多くの参観者が見守る中で、聖高原駅から役場までの間を、消防車両15台と団員70名がラッパ隊の演奏に合わせ、分列行進を行いました。

また、保育園児による「ちびっこ消防団」も行進に参加し、ほほえましい光景が広がりました。

その後、地域交流センターにて村内外の来賓臨席の下、式典が厳粛に行われました。

式典の最後に団員全員で力強い団言の唱和が行われ、防災への誓いを新たにしました。



▲元気に行進

おみの星空キャンドルまつり



▲点灯後の会場



▲竹ドーム

「おみの星空キャンドルまつり」を1月20日、シェーンガルテンおみ庭園にて開催しました。準備の段階から皆さまにご協力をいただき、当日は、村内外から大勢の皆さまにご来場いただくことができました。

今後とも冬の恒例イベントとして定着できるよう進めて参りますので皆さまのご協力をお願いします。



▲花火を見上げる来場者

「明るい未来へつながる 元気な麻績村」

～第6次麻績村振興計画「後期基本計画」の策定に向けて～

村では、平成24年度に策定された平成25年度から平成34年度までの10年間の村づくりの指針となる「麻績村振興計画」の前期5年間で終了します。

そこで、今後5年間の「後期基本計画」を、村民の皆さまへのアンケート調査やパブリックコメントを実施して、様々なご意見をいただき、審議会での協議を進めています。

今後、この計画につきましては、3月定例議会での議決を経て、ホームページ及び4月の広報誌等で公表させていただきます。



▲審議会

支え合い 見守り合い 健やかに暮らせる 村づくり

～「麻績村障がい者計画」「第5期障がい福祉計画」「第1期障がい児福祉計画」～

村では、平成24年3月に「麻績村障がい者計画・第3期障がい福祉計画」、また平成27年3月に「麻績村第4期障がい福祉計画」をそれぞれ策定し、障がい者福祉施策の基本的な方向性を定め、この方向性を踏まえながら、障がいのある人・児童・生徒のニーズに応えるためのサービスの提供・確保に努めてきました。

今回、計画期間がそれぞれ満了するに際して、策定委員会の開催、アンケート調査の実施により新たな計画の策定を進めています。

また、平成30年度から、障がいのある児童・生徒へのサービスについては、「障がい児福祉計画」で数値目標等を見込むこととなります。

「麻績村障がい者計画」の計画期間は平成30年度から平成35年度までの6年間、「第5期障がい福祉計画」および「第1期障がい児福祉計画」の計画期間は、平成30年度から平成32年度までの3年間となります。

麻績村での新規就農の形 ～ふたごや農園 白木和真さん～

村での新規就農支援制度として農業次世代人材投資事業があります。白木和真さん(上井堀)は、地域おこし協力隊を退任後、この制度を利用し、ふたごや農園を開業しました。

国内では栽培農家が少ないスペルト小麦の栽培や約30種以上の野菜を無農薬・無化学肥料で栽培、インターネット(SNS)を利用した宣伝・販売、農家民泊事業、ひょうたんを使ったスピーカーなど、様々な工夫を凝らした経営をされています。

また、これらの内容について1月19日に開催された、生坂村・麻績村・筑北村農業委員会協議会研修会で、講師としても発表されました。

今後も村ではこうした新規就農者への援助を行い、地域営農の活性化を目指します。



▲現状を語る白木和真さん

麻績村職員の給与等の状況

◆人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (H29.1.1)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)
28年度	2,864人	2,771,731千円	77,738千円	404,935千円	14.60%

◆職員の平均給料月額及び平均年齢の状況

区分	一般行政職	
	平均給料月額	平均年齢
麻績村職員	300,400円	42歳

*平成29年4月1日現在

区分	一般行政職	
	平均給料月額	平均年齢
長野県職員	338,946円	45.3歳

*公表が遅れているため、平成28年4月1日現在の数字です

◆一般職の給与費の状況(平成29年度当初予算)

区分	職員数(人) (A)	給与額(千円)			1人当たり給与費 (B/A)
		給料	手当	計(B)	
麻績村職員	47	169,494	93,273	262,767	5,591

◆特別職の報酬の状況(平成29年4月1日現在)

区分	麻績村給料月額	区分	報酬月額
村長	668,000円	議長	275,000円
副村長	555,000円	副議長	206,000円
教育長	505,000円	常任委員長	188,000円
		議員	186,000円

* 期末手当支給割合(平成29年度)

- ・支給月数: 6月期1.55月、12月期1.70月 計3.25月
- ・支給基礎額: 報酬額を1.4倍



◆職員手当の状況(平成29年度支給割合)

区分	6月	12月	計	
麻績村	期末手当	1.225月分	1.375月分	2.60月分
	勤勉手当	0.85月分	0.95月分	1.80月分
国	期末手当	1.225月分	1.375月分	2.60月分
	勤勉手当	0.85月分	0.95月分	1.80月分
長野県	期末手当	1.225月分	1.375月分	2.60月分
	勤勉手当	0.85月分	0.95月分	1.80月分

◆ラスパイレス指数の状況

区分	麻績村	長野県	長野県町村平均
平成26年度	97.1	98.6	94.6
平成27年度	94.9	98.1	94.8
平成28年度	94.2	99.4	95.2

* 給料減額等がある場合は、減額後の額で算出

* ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数

◆行政職の級別職員数の状況(平成29年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
標準的な職務内容	主事補及び主事	主事	主任	係長	課長	課長	
職員人数	7	6	6	8	7	2	36
構成比(%)	19.4	16.7	16.7	22.2	19.4	5.6	100.0

◆行政職以外の級別職員数の状況(平成29年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	合計
職員人数	0	0	2	2
構成比(%)	0.0	0.0	100.0	100.0

◆部門別職員数の状況(平成29年4月1日現在)

区分	一般行政部門								特別行政部門 教育	公営企業など			計
	議会	総務	税務	民生	衛生	農水	商工	土木		水道	下水道	その他	
平成28年度	1	14	3	5	4	4	3	3	5	1	1	4	48
平成29年度	1	14	3	4	4	4	3	3	5	1	1	4	47
対前年増減	0	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	-1

* 教育長含まない。

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

平成29年度に実施された全国学力・学習状況調査の麻績小学校（第6学年）と筑北中学校（第3学年）の結果をお知らせします。

【麻績小学校】

教科	結果	特筆すべき事項	今後の方針
国語	「知識」は全国平均をわずかに下回る。 「活用する力」は全国平均を上回る。	「漢字の読み」「目的に応じて書く」の正答率は全国平均を上回る。	基礎基本の復習を計画的に行い、定着と伸長を図っていく。
算数	「知識」「活用する力」とともに全国平均をわずかに下回る。	「数と計算」「数量や図形」の正答率は全国平均を上回る。	個に応じた支援を更に丁寧に行い、持てる力を一層伸ばしていく。

《学習状況調査》

- ・「自分には良いところがある」「将来の夢や希望を持っている」と自己肯定感が高い。
- ・「先生は良いところを認めてくれる」「友だちと会うのが楽しい」と人間関係の良い居心地の良い学級集団となっている。
- ・「朝食を毎日食べている」「家の人と学校のことをよく話す」などの項目で肯定的な割合が高く、家庭での温かい支えがあることがうかがえる。
- ・「友だちの前で発表することがあまり得意でない」という意識の児童が多い事が課題。



▲おみっこ元気くらぶ

【筑北中学校】

教科	結果	特筆すべき事項	今後の方針
国語	「知識」「活用する力」ともおおよそ全国平均。	「書くこと」「読むこと」については基礎、基本がおおむね定着している。	「話すこと・聞くこと」がやや劣るのでグループ学習などの活動を通して力を伸ばしていく。
数学	「知識」はおおよそ全国平均 「活用する力」は全国平均を上回る。	「図形」「関数」については思考力・判断力・表現力が十分定着している。	学習意欲を高めるとともに、多くの記述式問題に取り組むことで活用する力を更に伸ばしていく。

《学習状況調査》

- ・学校の宿題を確実にやる生徒が大変多い。また、家庭学習の時間が極端に短い生徒が少ない。
- ・インターネットに関わる時間は全国に比べ比較的低い。
- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった経験を持つ生徒の割合が高い。
- ・人の役に立つ人間になりたいと願う生徒がほとんどである。
- ・友だちの前で自分の考えや意見を発表することが苦手な生徒の割合が高い事が課題。



▲学びの広場

- ◆小中学校ともに「友だちの前で発表することが苦手」という子どもが多い。様々な場面での発表の機会を増やすことで自信を持てるようにしていく。

～歴史町並みを残すために～『善光寺街道 麻績宿の町並み保存』その⑨

中橋臼井家古文書に残る江戸時代の麻績村の風景

○信仰・札所めぐり・旅行ブーム

水野藩領地であった時代(寛永十九年/1642～享保八年/1723)が中橋臼井家のもっとも盛んだった時期であった。六代目忠兵衛定勝は、信仰心も篤く、亡父供養のため、出羽国羽黒三山に参拝。十九日間かけて往復二百里の旅をしたという。また麻績神明宮の鳥居や法善寺の鐘を寄進したり、信濃二番札所となる宗善寺を建立したりした記録が残っている。ちなみに今、観月苑に遷座なさっている信濃二番札所本尊の観音像は六代忠兵衛定勝が寄進したものと貞享元年(1684)の当家文書にはある。(中略)

また中橋臼井家の祖先には、寛政四年に、遠く仙台、松島、金華山までの大旅行をした人がいる。同分家の一人は、京都、大阪、四国、岡山、赤穂、姫路を廻り、伊勢から東海道を下り、静岡久能山、箱根を越えて江ノ島、鎌倉を見て江戸に入り、それより草津、澁の温泉で長旅の疲れを取り、信州に帰るといふ大旅行をしている。

村内の一寺には西国札所巡礼を終えた人の建てた供養塔などが残り、代参で伊勢参りに出た人に託した奉納金の受取などもある。相当数の人が旅に出ていたものと想像される。

善光寺街道麻績宿『日本陣臼井家・旅籠花屋臼井平右衛門』から

「麻績宿の歴史と旧本陣中橋臼井家」より 臼井家17代当主：臼井良雄 著

信濃三十三番霊場一番札所法善寺



▲現在は二番札所朱印所を兼ねる。
以前は臼井家でも朱印を捺した。

信濃三十三番霊場二番札所宗善寺



▲平成12年、信濃観月苑に遷座した。
明治38年荒廃していた観音堂を臼井家平右衛門家中庭に八角形の堂宇を建てて移したのち、ご本尊は近くの一善法善寺に安置されていた。平成12年本尊は村宝に指定

第5回 防災コラム

～家の中を安全な空間にしよう～

あなたの家の中は安全ですか？

阪神・淡路大震災の時に、建物の中でケガをした人の約半数(46%)が家具の転倒、落下が原因だったという調査結果があります。これにガラスの飛散によってケガを負った人(29%)を加えると、実に4分の3の人たちが家具やガラスで被害を受けたことになります。つまり家の中の安全対策をしっかり行えば、地震発生時にもケガをするリスクを減らすことができるのです。

■基本は「集中収納」

家の中の安全対策を行う場合、必ずしもすべての家具を壁などに固定する必要はありません。まずは押し入れやクローゼットなどに集中的に収納し、家具の数を減らしてみましょう。

■収納方法を工夫する

家具の上などの高い場所にガラス製品などの危険物があると、地震の際に落下する恐れがあり大変危険です。「高い場所に物を置かない」「不安定な場所に家具を置かない」「重い物は下、軽い物は上に配置する」など収納方法を工夫してみましょう。

■ガラスの安全対策

飛散防止フィルムを貼ったうえで、薄いレースカーテンを常に引いておけば、いざというときのガラスの飛散を軽減できます。

この他にも家の中を安全にする方法はまだまだあります。地震発生時にケガをしないためにも一度家の中をぐるっと見回してみましょう。



健康と福祉のひろば

お問い合わせ先 役場 住民課 ☎0263-67-3001

～献血のお願い～

麻績村では次のとおり、『400^{ml}限定献血』を実施します。

血液は長期保存することができません。今後の安定供給のために、特に若い皆さまの献血へのご理解、ご協力をお願いします。

日 時	3月9日(金) 午後1時30分から3時30分
場 所	麻績村役場
対 象	体重50kg以上で 男性17歳以上、女性18歳以上の方



「キミに救えるいのち、キミがつなぐ未来」

平成30年度 各種がん検診希望調査のお願い 早期発見のために、「がん検診」を受けましょう！



平成30年4月からの1年間に村が実施する、がん検診の受診希望調査を行います。

調査票の配布・回収は各地区の保健補導員、もしくは郵送にて行います。

この調査で受診を希望していただきますと、検診予定日の約1か月前に受診のご案内をお送りします。

村で実施するがん検診の費用は一定の補助を行っています。職場検診や人間ドック等でがん検診を受ける機会のない方は、是非、ご活用ください。

また、同じ封筒で、「がんリスク検査」（胃ピロリ菌抗体検査や前立腺がん検査、B型C型肝炎検査）の実施のご案内と希望調査票も同封していますのでご確認ください。

希望調査提出締切 2月16日(金) 提出先 地区保健補導員または役場 住民課

精神科医師による、精神保健相談

開催日 2月22日(木) 午後1時30分から4時

相談内容 うつ症状、これまでにない気になる攻撃的な言動や行動、依存症状、引きこもり（不登校を含む）、認知症状などに関すること。

会 場 保健センター

申込締切 2月16日(金)

申 込 先 役場 住民課 保健師

相談は予約制です。また、訪問による相談も可能ですので、お申し込みの際にご相談ください。

高齢者用肺炎球菌ワクチン定期予防接種

平成29年度接種対象者の皆さんへ

～ワクチン接種補助の期間は平成30年3月31日まで～

平成29年度高齢者用肺炎球菌ワクチン定期予防接種対象者への接種補助期間は3月末までです。接種を希望される方は、この日までに受けられるよう医療機関へ予約を入れてください。



予防接種を受けるには本人確認のため、通知に同封した**ミドリ色の『接種券』**が必要です。接種券を紛失された場合は再発行します。過去に自分で受けた方は対象になりません。接種の補助は生涯で1回のみです。**今年度の対象者が今後対象になることはありません。**この機会を逃すことなく予防接種をお受けください。

※ご不明な点がございましたら、役場 住民課または保健師までお問い合わせください。

まだ受けられます!『麻績村国保特定健診』

今年度の国保特定健診の受診はお済みですか?

筑北三医療機関の個別健診は、平成30年3月16日(金)まで受診できます。平成29年度の健診をまだ受けていない方は、今すぐ予約の電話を入れましょう。

お手元に受診券のない方、筑北三医療機関以外のかかり付け病院での受診を希望される方は、役場保健師までご連絡ください。

生活習慣病は、自覚症状のないまま進行します。生活に大きな支障を来し、時に命まで脅かす、心筋梗塞、脳梗塞、慢性腎臓病等を予防するために、ぜひとも、年1回の健診を受けましょう。

玉井医院 ☎0263-67-2231

鳥羽医院 ☎0263-66-2435

松林医院 ☎0263-66-2008



麻績村・筑北村共催

「こころの健康づくり講演会」開催のお知らせ

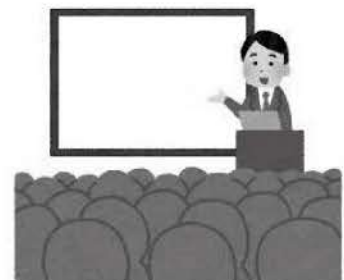
テーマ 『人と社会がつながるために』～ひきこもったことを考える～

講師 A I H心理相談室 主宰

臨床心理士 吉澤 智子 先生

開催日 2月6日(火) 午後1時30分から3時

会場 筑北村多目的ホール(筑北村役場隣)



各課からのお知らせ

総務課

所得税・住民税の申告(納税相談)受付について

期 間 平成30年2月16日(金)から3月15日(木)まで(土、日曜日は除きます。)

時 間 午前9時から午後4時まで

※1 平日に都合のつかない方は、次の休日受付をご利用ください。

2月17日(土) 午前9時から午後4時まで

3月4日(日)、11日(日) 午前9時から正午まで

※2 日中に都合のつかない方は、次の夜間受付をご利用ください。

2月21日(水) 午後4時から午後8時30分まで

会 場 役場 2階 第4会議室

担 当 総務課 税務係



～期間中は大変混み合いますので、お時間に余裕をもってお出かけください。～

村づくり推進課

NPO法人おみごと

～地域農業の活性化と新たな担い手育成の状況～

NPO法人おみごとで農業研修を受ける地域おこし協力隊が、平成29年10月21、22日に東京都台東区、11月18日に同荒川区の物産展イベントに参加してきました。

同行した「おやきの会」や「あさつゆ」の方々から販売の指導をいただきながら、村の特産品を直売しました。訪れた多くの皆さまに興味を持っていただき、村の知名度向上と販路拡大につながりました。

農業体験ツアーの実施

NPO法人おみごとの主催で、「麻績村農業体験ツアー」を11月11、12日に実施しました。神奈川県を中心とした都会にお住まいの方々30名が参加し、聖山登山や草木染め、リンゴの収穫体験など、村の自然や伝統工芸、農産物を体で感じていただくことで村の魅力をPRできました。



▲台東区での物産展



▲聖山登山



▲草木染め



▲参加者の方々

農業後継者確保へ



麻績村の特産品というと、誰もが「リンゴ」と答えます。しかし、リンゴの生産者も高齢化が進み、今まで大切に育ててきたリンゴ栽培を断念しなければならない状況になっています。

そこで村では、東京有楽町駅前の東京交通会館内にあるNPO法人ふるさと回帰支援センター、東京駅前の総務省移住・交流情報ガーデンのスペースを借り、地域おこし協力隊制度と農業次世代人材投資資金を活用した『農家の後継者になろうプロジェクト』と題して、都会の就農を希望する方々の相談会をJA松本ハイランド筑北地区営農センターに協力をいただき実施してきました。

ご夫婦で参加された方が5組、独身者が4名、総勢14名の相談を受けました。

農業委員長でもある、地域づくり支援員の柳原さんから、地域おこし協力隊が農業研修生として、年間を通して実施している研修の内容を説明しました。また、リンゴ栽培について営農センター関森果樹指導員による「新しい化栽培導入と生産量の向上と所得」の説明が行われました。その後、個別相談の時間を設けたところ、皆さんが最後まで熱心に参加され今後も定期的開催の必要性を感じ、相談会を終了しました。



▲説明会会場



▲新しい化の説明をする関森さん



▲個別相談を受ける柳原さん

振興課

平成29年度道路改良事業

安心安全の村づくりのため、消防車などの緊急車両が通行できるよう、女淵区、野口区、下井堀区、矢倉区で道路改良工事を進めています。また、根尾区の芦澤砂防事業に伴う工事用道路の拡幅改良工事も継続して行っています。

近隣の皆さま、道路を利用される皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。



▲女淵区集落内村道



▲野口区集落内村道



▲高畑野口線(矢倉区)



▲芦澤砂防事業工事用道路



<定住促進住宅(本町地区)建設事業について>

昨年11月末に2棟の住宅建設が完了し、隣接する来年度建設予定地の造成工事を引き続き行います。工事期間中は、周辺道路の通行止め等にご理解、ご協力をお願いします。なお、来年度は4棟建設予定で、完成は秋頃です。募集の運びとなりましたら、広報・村ホームページ等にてお知らせします。

▲引き続き造成工事を行います

住宅の耐震診断・改修のすすめ

松本地域では「糸魚川－静岡構造線断層帯」による地震発生確率が非常に高く、いつ起きてもおかしくない大規模地震への防災・減災対策が重要です。

旧耐震基準により建築された戸建て住宅(昭和56年5月31日以前に着工したものは耐震性に不安があります。お住まいの住宅の耐震性を確認していただき、耐震性が不足する場合は耐震改修をご検討ください。

○耐震性を確認したい

村が委託する(一社)長野県建築士事務所協会が木造住宅耐震診断士を派遣します。診断士は現地調査のうえ診断結果報告書を作成し、後日診断結果について説明に伺います。費用は在来工法の木造住宅の場合は無料です。

※非木造、伝統工法の木造住宅については役場 振興課 住宅係までお問い合わせください。



住民課

地域循環型堆肥化施設生ごみ処理 ～新システムへの移行～



▲小東区の堆肥化施設

小東区にある地域循環型堆肥化施設は、昨年11月から菌分解による生ごみ処理方法(HDMシステム)へ移行しました。

収集エリアの拡大に伴い、現在1日あたり約200kgの生ごみを順調に処理しています。引き続き、該当地区や事業所の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

※菌分解により、ほとんど生成物が残らないため、従来のような土壌改良材の配布は行っていません。

観光課

★おみ光のページェント★

シェンガルテンおみでは、12月から2月下旬まで冬の風物詩「おみ光のページェント」が開催されています。点灯時間は17時から22時の間で、レストランでは特別メニューをご用意し、皆さまのお越しをお待ちしています。

また、点灯期間中はフォトコンテストや星空観賞会も開催していますので、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先 聖高原観光案内センター ☎0263-67-2133



▲光輝くイルミネーション

教育委員会

麻績村独自の 教育方針

【保小中一貫教育】に向けて ～検討委員会による方針の研究～

昨年筑北村の学校統合の方向性が決定され、筑北中学校を運営する学校組合からの脱退により、両村の学校の枠組みが決まってきました。これを受けて教育委員会では村長より諮問を受けていた「麻績村の教育環境の方向性」について、小規模校ならではの良さを活かした、子どもたち一人ひとりの『個』の良さを伸ばす「一貫教育の実施」を主とした最終答申を行いました。

また、この答申を具現化するために『麻績村の教育方針に関する研究検討委員会』を立ち上げ、現在まで「保育園・学校部会」「子育て支援部会」「社会教育部会」の三つの部会で課題や方向性が検討されています。



▲子どもたちの未来に向けて

【保育園・学校部会】

村の目指す一貫教育は、小学校や中学校の施設(校舎)が一体となった一貫校ではありません。

現在も保育園から小学校、小学校から中学校の間では細かな連絡体制が出来上がっており、子どもたちの情報の共有がなされ、支援が必要な子どもについても、連続してサポートを行う組織も出来ています。

これらはすでに一貫教育が実施されているということになりますが、学習の進め方や学校行事などは、それぞれの学校において決められています。

今後は細部にわたり、保育園・小学校・中学校が縦割りではなく、一つのテーブルで協議・検討することにより、幼児期から中学校までを見通した教育を行っていきます。

【子育て支援部会】

若者のさらなる定住を目指す麻績村にとって、子育て支援の充実が重要なものとなります。

部会では、乳幼児期から青少年期までを見込んだ支援の在り方や、子育てと教育相談が一元化された相談体制の必要性、専門職の適正な配置など、様々な声に対応すべく検討を行っています。

現在の子育て支援においては、子ども達それぞれの発達の違いによるつまづきへの対応や家庭支援を行う専門的知識を持った方々との関わりが重要となります。

そうした中で、生まれた時から一人ひとりの子ども達の思いに寄り添い、「個」の良さを伸ばす体制と仕組みづくりを目指します。

【社会教育部会】

三つの部会の中で最も多岐にわたるこの部会では、公民館活動やスポーツ振興、図書館運営や文化財保護など、さらに細かく事業を区分した「小部会」の中で、各項目の課題を洗い出し、方向性を検討しています。

最初に行われた文化財の小部会では、時代に沿った形の文化財マップや小冊子の見直しと合わせて、小中学校で行われている「ふるさと学習」とも連携し、より幅広い世代の方が文化財に興味を持てるような仕組みづくりなどが協議されています。

各部会とも概ね月1回の開催が予定され、傍聴が可能です。日程はホームページや広報でもお知らせしますので、ぜひ、傍聴にお越しください。

『ICT活用教育アドバイザー派遣事業』を実施中

近年、学校教育において急速な広がりを見せている電子黒板やデジタル教科書などを駆使したICT(情報通信技術)教育は、子どもの学習意欲や達成感を高め、知識や技術の習得に高い効果が得られるものです。

ICTを活用した教育は小中学校で実施していますが、現状の課題解決やさらなる活用方法を進めていくため、文部科学省の事業である「ICT活用教育アドバイザー派遣事業」に申請をし、採択を受けました。

この事業は、採択を受けた各自治体のICT教育を支援するため、専門のアドバイザーを派遣するもので、採択を受けた自治体が負担する費用はありません。

麻績村へは、新潟大学の後藤康志先生に来ていただき、昨年第1回目を実施しました。

今後、現状課題に対しての情報提供や、小中学校が連携したICT教育の方向性についてアドバイスを受ける予定としており、小規模校ならではのICT教育の充実を目的としています。

関係機関からの お知らせ

行政書士無料相談会

毎年2月22日を「行政書士記念日」と定め、合わせて無料相談会を開催します。相続手続きや遺言手続き、会社・法人設立手続き等の相談を承ります。この機会にぜひ、ご相談ください。

松本会場

相談日 平成30年2月17日(土)

場所 松本市駅前会館

4階大会議室

お問い合わせ先

☎0263-33-2966

安曇野会場

相談日 平成30年2月15日(木)

場所 安曇野市役所

211-214号室

お問い合わせ先

☎0263-71-2000



特別最低賃金の改正

10月1日の長野県(地域別)最低賃金の改正に続き、特別最低賃金(4種類)が改正されました。

特定最低賃金とは、特定の産業について設定されている最低賃金です。今一度、労働者、使用者と共に必ず確認いただくようお願いいたします。

お問い合わせ先

長野労働局 労働基準部

☎026-223-0555

民事調停のご利用を

民事調停とは、話し合いで問題の解決を図る裁判所の手続きです。裁判のように勝ち負けを決めるのではなく、お互いが納得するまで話し合うことが基本なので、実情にあった柔軟な解決ができます。

「取引先に代金を払ってもらいたい」、「敷金を返してもらいたい」、「隣に静かにしてほしい」など、いろいろな問題に利用できます。詳しくは裁判所のウェブサイト、「裁判所民事調停」とお調べください。

お問い合わせ先

長野地方裁判所

☎026-403-2008

正しい操作で、安全除雪

毎年、雪のシーズンになると除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う際には、使用者の責任において、正しく、安全に作業を行ってください。

1、安全装置が正しく作動しない状態では絶対に使用しない。

2、除雪機を使用する場合は、周囲に人がいないことを確認し、人を絶対に近づかせない。また、不意に人が近づいた場合には除雪機を直ちに停止できるように状態で除雪を行う。

3、投雪口に詰まった雪を取り除く際には必ずエンジンを停止し、オーガやプロアの回転が停止したことを確認してから雪かき棒を使用し、雪を取り除く。

4、除雪機を使用する際、特に後進時は足元や周囲の障害物に注意を払い、無理のない速度で使用する。

お問い合わせ先

一般社団法人日本農業機械工業会

除雪機安全協議会

☎03-3433-0415



放送大学 4月生募集のお知らせ

放送大学は、平成30年度第1学期の学生を募集しています。

10代から90代の幅広い世代、約9万人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で学んでいます。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

出願期間

第1回募集

12月1日(金)から2月28日(水)

第2回募集

3月1日(木)から3月20日(火)

お問い合わせ先

放送大学長野学習センター

☎0266-58-2332



国民年金保険料は

口座振替が便利です

国民年金保険料の納付には、口座振替がご利用になれます。

口座振替をご利用いただくと、金融機関に行く手間が省けるうえ、納め忘れもなくなるとも便利です。

口座振替をご希望の方は、年金手帳、通帳、金融機関届け出印をご持参のうえ、役場 住民課または松本年金事務所へお申し出ください。

お問い合わせ先

役場 住民課

☎0263-67-3001

松本年金事務所

☎0263-32-5821

自動車の登録・

検査手続きはお早めに

毎年、3月下旬は自動車の検査・登録申請が多く、窓口が大変混み合います。車検の手続きは、1か月前から受検できますので、なるべく2月中に、廃車・名義変更等の手続きは、3月中旬までに申請されるようお願いいたします。

お問い合わせ先

松本自動車検査登録事務所

☎050-5540-2043

司法書士による無料電話相談

「インターネットによる

誹謗中傷トラブル被害者相談会」

長野県司法書士会は「インターネットによる誹謗中傷トラブル被害者相談会」を開催します。SNSや匿名掲示板等のインターネットによる誹謗中傷をはじめとする侮辱や名誉毀損に該当するような被害によって、心に大きな傷を負った方々を対象に、電話による無料相談をお受けします。

日時 平成30年2月25日(日)

午前10時から午後4時

相談料 無料

電話番号

☎0120-448-788

(フリーダイヤル)

お問い合わせ先

長野県司法書士会

☎0120-232-7492



農業者を対象とした収入保険制度がはじまります！

平成31年からスタートする農業者向けの収入保険では、保険料の掛金率は1%程度で、農業者ごとの平均収入の8割以上の収入が確保されます。自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補てんし、損害が発生しなかった場合は翌年の保険料が下がります。

○対象品目

米、野菜、果樹など農産物のほとんどが対象になります。(ただし、肉用牛、肉用子牛、肉豚及び鶏卵は対象外)

○収入保険制度に加入できる人

青色申告を行っている農業者です。青色申告(簡易な方式を含む)の実績が1年分あれば加入できます。新規就農者でも可能です。

新たに青色申告を始めるためには、個人の場合、平成30年3月15日(木)までに、最寄りの税務署に「青色申告承認申請書」を提出する必要があります。平成30年分の青色申告実績ができれば、平成32年1月から加入できます。

加入条件、補償内容については、長野県農業共済へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

長野県農業共済 中信地域センター

☎0263-40-2500



平成30年度に採用する特別養護老人ホーム等の職員を募集

■募集する職種および受験資格いずれも普通自動車免許があり、各職種に必要な資格を有する人

◆正規職員

- 看護職員 看護師または准看護師の資格を有する人
- 事務職員 昭和57年4月2日以降に生まれた人で、大学卒業程度の学力を有する人で、公会計・介護事務に精通している人

◆嘱託員

- 介護職員 次のいずれかの資格を有する人
 - ①介護福祉士資格または受験資格
 - ②社会福祉士資格または受験資格
 - ③ヘルパー2級以上の資格および老人福祉施設での介護経験が6カ月以上
 - 機能訓練指導員 次のいずれかの資格を有する人
看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師
 - 事務職員 介護事務に精通している人
- ※各資格は、平成30年3月末までに取得見込みのものを含みます。
※学生は、平成30年3月末までに卒業見込みの人に限ります。

■採用人員 いずれも若干名

■勤務場所 東筑摩郡(麻績村・山形村)、塩尻市、松本市、木曽郡にあるいずれかの組合施設

■採用試験 2月15日(木)

■申し込み方法 組合各施設および事務局(特別養護老人ホーム桔梗荘内)および組合ホームページ(URL <http://aoihato.com/>)にある申込書に記入の上、2月8日(木)までに(受け付けは、平日の午前9時～午後5時)本人が直接事務局に提出してください。

■お問い合わせ先 松塩筑木曾老人福祉施設組合事務局 ☎0263-53-5000

平成30年度 自衛官募集案内

防衛省では、下記の予定で特別職国家公務員「自衛官等」の受付及び試験を実施します。

募集項目	応募資格	受付期間	試験期日
幹部候補生	一般(大卒程度試験) 22歳以上26歳未満の者(大卒見込者含)、修士課程修了見込者は28歳未満の者	3月1日から5月1日	1次 5月12・13日
	一般(院卒程度試験) 20歳以上28歳未満の者、修士課程修了者等(見込者含)		
一般曹候補生	18歳以上27歳未満の者	①3月1日～5月1日	①1次 5月26日
予備自衛官補	一般 18歳以上34歳未満の者	①1月9日～4月6日	4月中旬
	技能 18歳以上で国家資格を有する者(資格により年齢の上限があります。)		

【お問い合わせ先】 自衛隊長野地方協力本部松本地域事務所 ☎0263-36-2787

議会だより

No.127

☆新年のごあいさつ……………18
 ☆12月定例会……………19
 ☆委員会審議結果……………19
 ☆花岡興男委員、監査事務功労者
 総務大臣表彰受賞…20
 ☆一般質問……………21
 ☆議員活動報告……………25

発行 麻績村議会
 編集 議会編集委員会
 〒399-7701
 長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
 電話0263-67-3001
 FAX0263-67-3094



新年明けましておめでとうございます。

村民皆様方には輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

常日頃から、麻績村議会に対しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国的に人口減少が進み地方では麻績村も含め少子高齢化が加速しております。

国でも子育て支援等、

様々な議論がなされておりますが決定的な打開策が無いのが現状かと思われれます。

麻績村では若者定住策として本町地区に平成29年12月までに26棟の若者定住促進住宅が完成し120人前後の方が入居しております。

一定の効果が見られておりますが、若者の定住から永住、この事が重要な課題であります。

麻績村では安心・安

全な環境整備を推進しておりますが、加えて公共施設を利用した基幹的な拠点整備を目指した地方創生拠点整備事業として、日向第二公民館の耐震改修とテレワークオフィス整備工事が平成30年3月末完成予定とされております。

当初予算約1億8千万円で進んでおります。

さて昨年9月に村議会選挙、12月には村長選挙が執行されました。

村議選では5名の新人の方が当選され、定数の8名で第17期議会がスタート、12月定例会も終わり3カ月を経過致しました。

村長選では現職の高野村長が無投票で3選されました。

10月2日より私も微力ではありますが議長のお務めにつき、議員各位もそれぞれの立場に於いて選挙戦で村民皆様に選挙公報で申し上げ

ます。

げた公約の実現に向けて努力しております。

安心・安全な村づくりのため、行政・議会・村民が一体となって課題解決に向けた取り組みを考えて参ります。

現在の麻績村は労働人口の減少、少子高齢化、この事が農業等も含め全ての問題に繋がっていると思われれます。

今後は麻績村の将来を担っていく若者の支援策を行政と共に取り組んで参りたいと思えます。

多様化する住民ニーズに 대응できるよう執行機関と議会が方向性を一つにして、麻績村の将来の発展と住民福祉の向上を目指して『透明性の高い開かれた議会づくり』を目指してまいります。

結びに村民皆様の御健勝と御多幸を御祈念申し上げますと共に変わらぬご支援をお願い申し上げます。



議長 小山 福績

副議長 議員

- | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 飯森 茂孝 | 塚原 利彦 | 峯村 賢治 | 宮川 秀俊 | 塚原 義昭 | 小瀬 佳彦 | 茂木 泰男 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|



今年で第12回となる、小学校6年生による子供議会（H30.1.19開催）

12月定例議会

12月定例会は、12月5日から8日までの4日間の会期で開催された。

第1日目は、諸般の報告1件、請願・陳情等の委員会付託（2件）、条例改正議案4件、聖高原別荘地地上権に関わる訴訟の提起1件、補正予算議案4件の上程を行った。

本会議終了後、議会全員協議会を行い、全議案の詳細説明を受けた後、陳情等2件を総務経済委員会、社会文教委員会合同の請願1件と社会文教委員会での陳情1件を審議した。

第2日目は、1月に予定している子ども議会の事前学習として、麻績小学校の6年生が傍聴するなか、議会議員選挙後初の一般質問を7名の議員が登壇し質問を行い、村政の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めた。

一般質問終了後、各委員会に付託した、請願、陳情2件についての審議結果を宮川秀俊総務経済委員長と小瀬佳彦社会文教委員長が行った。

第3日目は、第1日目に上程した議案9件を全議案原案のとおり可決した。

また、第2日目に議決した陳情1件に対する意見書の提出についての議員からの発議は全会一致で議決した。

諸般の報告

○議員派遣結果報告

条例の改正

○議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

○特別職職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正

○一般職職員の給与に関する条例の一部改正

○若者定住促進住宅管理条例の一部を改正する条例

その他の案件

○聖高原別荘地地上権に関わる訴訟の提起

予算の補正

○一般会計補正予算（第5号）

○国民健康保険特別会

計補正予算

（第2号）

○下水道事業特別会計補正予算（第3号）

○水道事業特別会計補正予算（第2号）

議員発議

○若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める意見書の提出

○議会議員の派遣

委員会審議結果

総務経済委員会

社会文教委員会 合同

○「両村ごとの学校運営計画を見直し、協働による小学校1校、中学校1校の設置運営を求める請願書」
【継続審査】
麻績村・筑北村の学校統合問題については、平成26年6月開催の両村代表者会議（8者会議）において、筑北村長より学校統合は「筑北村のみで進めることに決めた」との報告があり、平成23年8月から進めてきた話し合いが最終した。その後筑北村では検討が重ねられ、平成29年3月議会で統合に関する条例が議決された。内容は平成32年4月1日に筑北小学校と坂井小学校を

統合し、坂井小学校を開校する。そして平成30年4月1日から段階的に、坂井小学校の卒業生を聖南中学校へ登校させることとし、「平成32年3月31日をもって筑北中学の学校組合から脱退」するのとこととした。

今年4月には聖南中学への登校準備を進めており、生徒、保護者にさらなる不安を与えている。

今回の請願書は一部内容が違うが筑北村議会にも同様な請願書が提出されており、筑北村の脱退計画の中止の請願、条例の廃止等、筑北村の今後の動向も視野に入れながら結論



を出す必要があるため、
請願書の趣旨は理解し
決定した。 とうえで、継続審査と

社会文教委員会

○若い人も高齢者も安心

心できる年金制度を
求める陳情書

【審査結果】

採択・意見書提出

厚生労働省は、2013年から今年までの5年間で「特例水準」の解消による2・5%の削減、「マクロ経済スライド」の発動による0・9%の削減、今年の0・1%削減など3・5%も目減りさせました。

マクロ経済スライドをはじめこれからも際限なく年金の減額が行われれば、低賃金の非正規雇用で働く将来の年金者にとっても深刻な問題となります。

昨年の臨時国会で年金受給資格期間は25年から10年に短縮され、

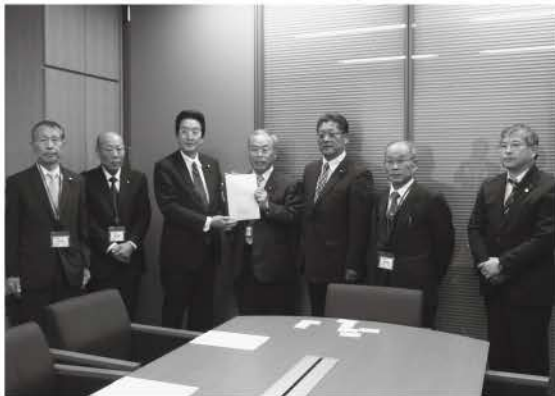
約64万人の無年金者が年金を受給できるようになりましたが、当面の要求である毎月支給に関しては、相変わらずかたくなな態度をとり続けています。「マクロ経済スライドの撤回」、「最低保障年金制度」の実現にも足を踏み出そうとしています。国は憲法第25条2

で「すべての生活部門において、社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上、増進に努める」義務を負っています。

国民年金法では「憲法第25条2の

規定にたつて国民生活の安定が損なわれることを、国民の共同連帯によって防止し、国民生活の維持・向上に寄与する」とすることの必要性を考え、採択とし、塚原利彦議員の発議による意見書提出とした。

提出された意見書は第3日目に上程され、全会一致で可決し地方自治法第99条の規定により、内閣総理大臣、厚生労働大臣に同日付で送付した。



東筑5村の議長による国会議員要望活動

監査事務功労者総務大臣表彰を 花岡興男代表監査委員が 受賞しました



花岡興男代表監査委員は平成18年4月より麻績村監査委員になり本年で11年目になりました。このたび地方自治法施行70周年にあたり、多年監査事務に精励し、地方自治の発展に貢献した者について、要領の定めるところにより表彰を行う趣旨に該当し、野田聖子総務大臣より表彰されました。この表彰は監査委員の方が対象で全国の町村監査委員の方239名が表彰となりました。



地方自治法施行70周年記念
監査事務功労者総務大臣表彰式
平成29年度 町村監査功労者表彰式

一 般 質 問

質問議員 7名

飯森茂孝 塚原利彦 峯村賢治 宮川秀俊
 塚原義昭 小瀬佳彦 茂木泰男

質問事項 (本号掲載以外のもの)

- 子育て支援の充実と若者定住住宅地への環境整備について
 学校問題に対する保護者や村民の根強い不安について ……飯森 茂孝
- 公共施設等総合管理計画に関して ……塚原 利彦
- 農業振興について・観光事業について ……峯村 賢治
- 農林業の振興について・大規模災害への備えについて ……宮川 秀俊
- 砂防施設について ……塚原 義昭
- 保小中一貫教育の目指すところは
 歴史遺産を活かした観光戦略の再構築について ……小瀬 佳彦
- 火災報知機の不具合の対応は・村の総合管理計画の老朽化対策の位置づけは
 企業センター長はなぜ役場職員OBか・協力隊は村に根付くのか ……茂木 泰男

災害時に備える為の防災危機管理体制について

支え合いマップ作成は約4割の地区で着手、 山ぼうしと企業センターはそろそろ建てかえの必要あり

問 防災訓練全地区実施を5年の目途にとあるが短縮すべきでは。
答 糸魚川静岡構造線の地震発生確率が上がったということ、また

問 村内における耐震診断と耐震対策の現状と対応は。
答 村では平成20年3月に計画を策定し、耐震化に向けて広報などで耐震改修、耐震診断の情報提供をしている。民間住宅の耐震化は進んでいないのが現状である。山ぼうしと福祉企業センターの耐震については、そろそろ再整備、建てかえが必要ではないかということ、検討に入っている。それから地区の公民館等については今後地区と相談して進めていきたい。



飯森 茂孝 議員

近年、国内で大きな災害が発生していることもあり本年から麻績消防署の協力も受けて、どのような訓練をしたらいいかというようなことも踏まえ区長会や地区懇談会、広報などを通じ短縮できれば、なるべく短くしたいと考えている。

問 災害時対応の為に「住民支え合いマップ」の作成を早急にすべきでは。
答 村では長野県北部地震を契機に平成27年度より災害時住民支え合いマップの作成を推進してきた。現在、支え合い台帳の作成、マップの作成を行っている地区が全地区のうち6地区、実施に向け1地区で村からの説明会を行っている。現在は、村の中の約4割の地区で着手をしている状況となっている。皆さんに安全な村づくりについてご理解、ご協力をいただきながら、できるだけ早期に作成している。

子育て支援

①放課後児童クラブの現状、課題と対策は

②就学援助金で、入学準備として入学前の前倒し支給はできないか

①利用時間…必要なら検討も。要支援の子供対応…できるだけ対応したい。

②平成30年度入学からの実施に向け準備している。



塚原 利彦 議員

問 放課後児童クラブの現状について、行政サイド自身として認識している課題は何か。

答 大きな課題は無いが支援の必要な子供たちに対する対応、指導については課題だと思っている。

問 クラブのあり方については条例に沿って高い目的、位置付けで運営されるべきと思うがどうか。

答 放課後児童クラブは帰校後に自宅に保護者がいないときの居場所として設置している。今言われたのは、児童館等についての運営部分と認識している。

問 具体的な要望等について伺う。①施設の受入れ開始時間の繰上げ、②要支援の子供への対策、③水道の利用が不便、遊び場の整備や草刈り等を早めに、④

現場と教育委員会との意思疎通や協議をしっかりと等。これらの中で対応できるもの、検討したいものを伺いたい。

答 利用時間については必要なら検討もあろうかと思う。また要支援の子供たちにはできるだけ対応したい。ただこれらには財政的な点も含め厳しい面もあると思う。草刈り等は早くやっていきたい。現場と教育委員会の関係では、毎日職員が打合せに行く中で意思疎通等を行っている。

問 就学援助制度について伺う。入学準備の援助金について、入学前の前倒し支給はできないか。

答 平成29年3月の文科省通知に基づき、当村でも平成30年度の入学から実施する予定である。

問 その内容や手続きについて該当の保護者へのお知らせは。

答 小学校は、校長に申し出ていただき対応したい。ただ、申請されても再審査や却下という事もあり得るのでご理解いただきたい。

麻績村の今後の財政について

現状健全財政であり計画的に進行している



峯村 賢治 議員

問 ここ3年、公債費（過去の借金の返済金）を上回る地方債（村の借金）の今後については。

答 ここ数年は、投資事業、道路改良事業等の増加により、増加傾向になっている。

問 一般的に見て、公債費より地方債の額が上回っていることは不健全な財政状態で、一般家庭において考えれば、返済金より借入金の方が多い状態であるがどうか考えているのか。

答 財政は、家庭の財布に例えられるが、借金の種別を理解していただきたい。有利な起債、過疎債を使い、償還も様々なシミュレーションをしながら計画的に実行している。又事業については、住民

福祉の向上のために今やるか、先送りするかという問題、広域行政での施設整備での分担金の問題等を含めて将来に向けて計画している。

問 地方交付税の今後についてどう想定しているのか。

答 平成30年の地方交付税については平成29年度の水準を維持し、地方財源は確保するとうり、総務大臣の報道も有り、大幅な減額は無いであろうと見ている。

問 今後自主財源の確保のためにどのように考えているのか。

答 若者定住による人口増、テレワーク事業による企業誘致等を進めている。又、麻績村は一割自治ではあるが、自主財源の確保が難しくてもやっていけないわけではない。将来に向けて財源計画を立てながら進めていく。



地域活性化に向けての方策について

企業誘致は現実としては非常に難しい状況である



宮川 秀俊 議員

問 ICTを活用したテレワーク環境の整備について現在の進捗状況は。

答 地方創生交付金事業を活用した第二公民館改修テレワーク施設整備工事は、アスベストの除去、耐震補強、屋根工事等計画どおり進んでいる。完成は3月19日を見込んでいます。テレワークの入居募集に関しては当初10月開始を目指していたが、施設の完成予想図が欲しいとの要望もあり、現在作成を進めているところで完成次第、募集を開始したい。

問 過疎化に歯止めがかからない状況であり近隣市村においては企業誘致や雇用の確保を優先課題に掲げている首長もいるが村長の考えは。

答 企業誘致をしないということではないが大変難しい。優遇措置等も用意している。現実としては非常に難しい状況である。原因は人材・土地の確保が難しい点が挙げられる。村内から1時間以内で通勤できる地の利を活かし、通勤環境の整備に力を入れていく必要がある。起業される方には村単独の支援策や県等の支援も受けられるよう応援したい。

問 麻績インター周辺の開発についての考えは。

答 昭和40年代に工場誘致条例を制定し、税制措置や奨励金を交付する策を講じてきている。観光事業と農業を結びつける取り組みとして、シェーンガルテンを開業した。インター付近の地価高騰の影響もあり、進出企業は無かった。村では若者定住に向けて住宅整備を行ってきた。

空き家の実態把握が重要と考えるが

現状実態調査は実施していない 今後データベース化(管理台帳)を検討する



塚原 義昭 議員

問 今後人口減少と共に世帯数が減少し、空き家の増加が想定されている。国でも喫緊の課題として取り上げ、空き家特別措置法を制定し各行政での対策をし易くした。当面空き家の実態把握が重要であるが、どのように考えているか。併せて管理台帳の作成が必要と考えるが方針は。

答 現状は空き家の実態調査は実施していないが今後は検討する。又、データベース化(管理台帳)の方向で考えていく。

ら村としても空き家対策計画書(空き家バンク設置等)の作成が必要ではないか、また村民からの声もあるが考えを伺いたい。

答 まず実態把握(データベース化)が重要と考えている。そこから物件への利活用等をはじめ、必要な場合は環境保全のための助言も行っていく。対策の中で国への要請等が必要になれば空き家等対策計画書を策定する。現状活用できる物件については村外からの移住者の活用が進んでいる。広報・区長会での案内で貸し手の情報を得ているが現状では物件が少ない。情報発信は今後も進めていく。



筑北村・麻績村学校等統合検討会議はなぜ結論を出さずに破綻したのか

両村の選挙後、検討会議は再会されるはずだったが選挙結果は引き継ぐ形にならなかった



小瀬 佳彦 議員

問 筑北村麻績村学校等統合検討会議の決裂は平成26年の八者会議と考える。検討会議継続のための交渉が失敗した原因は。

答 両村の検討会議で結論が出る前に筑北村議会と両村長案に不同意という結論が先に出生された。両村の選挙後、検討会議は再開されるはずだったが選挙結果は引き継ぐ形にならなかった。政権が変わった後の八者会議は最初の段階から筑北村だけで学校統合を進めていきたいという意向があり、二回目で筑北村の方針が決定し、最終的に三回目で「これは筑北村で決めたことです」ということになった。その後直ちに筑北村独自の学校統合の検討会

議が始まった。**問** 教育委員会は政治的中立性と学校運営の継続性、安定性が確保されなければならない。たとえ学校統合の最終決定権が村長にあるとはいえ、両村の関係者が熟議する統合検討会議、これが最大限優先されるべきであった。両村とも教育委員会の独立性が充分ではなかったのではないか。

答 筑北村麻績村学校等統合検討会議は村の意向ではなく、両村の教育委員会が「これからの教育はどうあるべきか」を検討し、筑北村が麻績村より一年先に（上申書を提出）、それぞれ今後の方向づけは地域全体を見てどうあるべきか、ということとで概ね近い内容であった。結果的に学校統合がこういった形になってしまったのは非常に残念。
※教育問題が政治に引張られた。我々は今回の経験を是非記憶すべきだ。（小瀬佳彦）

- ①福祉センターの修理 ②山ぼうしの今後のあり方
- ③役場退職者の雇用方法 ④行政と協力隊の係わり

- ①緊急性の高いところから進める ②財源も含め研究、検討
- ③従来の専門性と経験を活かす ④自らの土台を構築する協力隊に



茂木 泰男 議員

問 福祉センターは修理必要箇所が多く、村民の交流の場としての機能を果たしていない。いつ修理費用を計上し、実施に移すのか。

答 昭和52年高齢者相互の交流の場として健康増進を図ることを目的として開設された施設。村では限られた予算の中で事業を実施している。要望箇所全てを一度に対応する事は難しい状況にある。12月定例会の補正予算にも修繕費を計上している。今後は管理委託先の麻績シルバー人材センターと綿密な連携調整を図り、緊急性の高い箇所から進めたい。
問 老朽化している山ぼうしを解体し、企業センターと同一場所に新設出来ないか。

答 福祉企業センターは昭和49年に建設され老朽化が進んでいる状況にある。両施設同一の場所に整備するには非常に大きな費用が発生する。今後はその財源を含め、研究、検討をして行きたい。
問 役場を定年になった職員が出先機関や、元職に再雇用されている傾向は世に言う天下りでは。又、定年後2年間の再雇用も同等では。

答 天下りと言う表現が適切なのか不明だが、給与的にも大分減額されて今迄の経験と専門性を生かした効率的な再雇用が実情である。
問 協力隊と行政の係わりの線引きは明確か。
答 行政と協力隊とのガイドラインの事だと思いが事案ごとに違いがあり、協力隊自ら行動を起こす事が大切で、行政の敷いたレールを走るのではなく、自らが土台を築く指導をしている。

私たちはこんな活動をしています

11月

- ・全国監査委員研修会
- ・自治功労者表彰
- ・東筑摩郡村議会議長会で県議会議長・県知事要望
- ・議会運営委員会
- ・松塩筑木曾老人施設組合定例会
- ・地方自治政策研修会
- ・定期監査・3日間
- ・松本広域連合議会議定例会
- ・北部3村議員交流会
- ・例月出納検査
- ・町村議長会全国大会及び国会議員要望活動
- ・穂高広域環境施設組合定例会
- ・学校組合議会
- ・松本地域振興局長懇談会

12月

- ・筑北保健衛生施設組合定例会
- ・生活安全推進協議会
- ・議会議定例会



1月

- ・聖高原冬山開き
- ・月例出納検査
- ・JA懇談会
- ・元旦祝賀式
- ・麻績村消防団出初式
- ・JA松本ハイランド祝賀会
- ・議会だより編集委員会
- ・東筑摩郡村長会、議長会新年会
- ・商工会新年会
- ・子ども議会
- ・松本広域、総務民生視察
- ・例月出納検査
- ・筑北保健衛生施設組合運営委員会
- ・道路整備事業県要望
- ・町村議会正副議長、正副常任委員長研修会
- ・松本広域連合議会議定例会



議会だより

編集後記

新しい年2018年が始まりました。平成になって30年、今や社会を担って活躍する世代は平成生まれの人達となってきました。振り返ると月日の経つのは本当に速いものです。

中国の陶淵明という詩人が詠んだ有名な漢詩に「歲月人を待たず」があります。「時は待ってくれないのだから、勉強に励め」といった教訓的な解釈が多いようですが、実は「無為に過ぎず、楽しむときは大いに楽しむ」という、ちょっと意外な内容なんだそうです。いずれにしても時間は人の都合を待つてはくれません。我々もこの事を心に置いて着実に議員活動に励まなくては、と思っています。

編集委員

- ◎飯森茂孝
- 塚原利彦
- 峯村賢治
- 宮川秀俊

村の出来事

2017年から2018年へ



図書館祭り 11/8



ちびっこ消防団啓発活動 11/13



青少年育成村民運動推進大会
人権教育指導者研修会 12/2



聖高原冬山開き 12/15



こども議会 1/19